

特別委員会報告

成果
○医師不足による過酷な医療現場の実態が理解され、医療スタッフに対する感謝の気持ちが芽生える。

指定管理者発言
陽正会理事長寺岡暉氏

現状報告に対するコメント
自治医大 神田健史氏

町立病院の現状報告
町立病院院長原田 巨氏

基調講演
＊地域医療の課題と方向性
自治医大 梶井英治氏

参加者 186人
(議会議員・行政職員・医療関係者・町民)

日時 1月21日(金)
場所 三和の森 リゾート カンファレンスC

神石高原町の医療を考える集いを開催 ●神石高原町地域医療を見守る特別委員会

始めた。

○地域医療を守るためには、行政・議会・住民・医療関係者が一体となつて取り組む必要性を参加者が理解し、行動を起こす意識が芽生えた。

今後の課題
○取組みを継続し、集会・対話を通じて、町民の思いを今後の町立病院経営に反映させること。



神石高原町の医療を考える集い

◎自主放送番組におけるデータ放送について
＊町提案のコンテンツツリーを基本に調整する。



行政告知放送室

◎告知端末の利用について
＊かがやきネットと連動した導入可能なメニューについて検討すること。

◎特別委員会の今後は
＊本特別委員会は、事業の検証と併せて今後の活用などを提案するため、当面継続する。

◎早期加入申込期間以降の加入分担金の取扱いについて
＊加入率の向上のため、条例改正を妥当とする。

◎議会中継について
＊6月議会一般質問を録画・編集し放送。

4月運用開始にむけて ●議会中継等自主番組放送特別委員会

かがやきネット いよいよ運用開始

神石高原町の 地域医療を守ろう

町長などの期末手当削減案 なぜ否決したのか？

町長・副町長及び教育長の期末手当を一割減額する特例条例改正案2議案は採決の結果6対6の可否同数となり、岡崎 眞議長長の裁定(現状維持の原則)により否決しました。(欠席1議員)

賛成

町職員にも経済的負担を強いている。理事者側も当然身を切るべきであり、条例改正案に賛成する。

賛成討論 片山元八郎議員

反対

提案理由に「引き続き厳しい財政状況を考慮し」とあるが、財政状況は単年度で判断すべきではない。財政の厳しさは合併以来であり好転はしているものの依然厳しく、特別職の給料・報酬は第三者機関の報酬審議会へ諮問し、その答申に基づき適正な額を決めるべきで単年度の特例措置で対応すべきではない。条例本文の改正がベストであり、この特例措置改正案に反対する。

反対討論 瀬尾征爾議員

がんばろう日本!!

東日本大震災のお見舞いを申し上げるとともに、亡くなられた方々のご冥福をお祈りいたします。被災地の早期復興を心から願っています。
自分のできる何かをしたい、少しでもお役に立ちたいと誰もがそう思っていると思います。
今こそ「支え合う日本」へ、心と力を合わせる時ではないでしょうか。
義援金や救済物資、避難者の受け入れなど今後も復旧・復興への支援が必要です。
神石高原町議会としても可能な限り支援をしていきたいと思ひます。

問 地域おこし協力隊の活動は

松本彰夫議員



答 定住に結びつける

Q 地域おこし協力隊の具体的な活動目標は。
A 町長 地域おこし協力隊は全国から二人を募集する。集落支援員と連携し、源流の里維持・再生に取り組む、最終的には本町に定住してもらいたい。
Q 策は。
A 町長 定住にむけての支援策は、2年間で定住に結びつくような環境を作っていく。

Q 源流の里の維持・再生には、集落支援員と自治振興会と協働で取り組むと言われたが、役場の下請けにならない取り組みが必要では。
A 町長 自分たちの地域は自分たちで守るという取り組みをしてもらい、その上で、共助、公助で協働の町づくりに取り組む。
Q し尿処理場は、町の職員一人と臨時職員で運営している。
Q 施設を大切に利用する

ためにも、直営で運営するべきだ。そのためには、職員の計画的配置が必要では。
A 町長 適正に処理するためには、直営が望ましい。有資格者も一人必要なので今後検討する。
Q 予算大綱で、県内で一番住みやすい町をめざすと述べてあるが具体策は。
A 町長 ハードルの高い目標を掲げたものである。

町民の満足度の高い施策に取り組む。



神石郡し尿処理場